

平成25年7月25日

N I T E (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

# News Release

## 扇風機による事故の防止について（再注意喚起）

本格的な夏を迎え、扇風機の使用に伴い、事故が増える傾向があります。扇風機は、省エネ・節電対策で、古いものを倉庫や物置等から持ち出して使用することも考えられるため、注意が必要です。

N I T E 製品安全センターに通知された製品事故のうち、扇風機（※1）の事故は、事故発生日でみると、平成19年度から24年度までに366件ありました。（※2）

扇風機の事故366件について、事故発生状況を現象別に分析すると、「経年劣化による事故」（※3）が多く、次のような状況で事故が多く発生しています。

- ① スイッチを入れたままその場を離れた。
- ② スイッチを入れたまま就寝していた。

扇風機の事故防止のための注意喚起に関しては、昨年度までに平成22年（6月及び8月）、平成23年（5月及び6月）、平成24年（6月）と5度にわたって行ってきたところですが、昨年、製造不良によって首が破損する事故が多く発生し、ほとんどが製品破損でとどまっていますが、今後とも注意が必要です。全国的に節電要請があり、使用機会が増え、事故も増えることが予想されることから、製品を安全に正しく使用して、事故を防止するため、再度注意喚起を行うこととしました。

（※1）ファンの見えない扇風機やサーキュレーターを含む。

（※2）平成25年5月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

（※3）製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの。

## 1. 扇風機による事故について

### (1) 被害状況及び年度別事故件数について

扇風機の事故は平成19年度から平成24年度までの6年間で366件ありました。被害状況を表1、年度別事故件数及び被害状況を図1に示します。死亡事故が2件（3人）、重傷事故が3件（3人）、軽傷事故が18件（19人）ありました。火災は57件（事故全体の15.6%）ありました。平成24年度は一事業者の社告・リコール製品で、製造不良で首部分が破損する製品破損の事故が116件と多く発生しています。

表1 扇風機の事故の被害状況（※4）

製品名		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害 (※5)	製品破損		
扇風機	事故件数		2	3	18	112	222	9	366
	被害者数		(3)	(3)	(19)				(25)
	火災件数(※6)		[2]	[3]	[5]	[47]			[57]

(※4) 平成25年5月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

被害状況別で、人的被害（「死亡」、「重傷」、「軽傷」）と同時に物的被害（「拡大被害」や「製品破損」）が発生している場合は、人的被害のより重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。また、( )の数字は被害者の人数、[ ]の数字は事故件数の内数で火災の件数。

(※5) NITEでは、製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(※6) 壁や畳、ふすま等の建物や建具の一部以上が焼損した火災のこと。

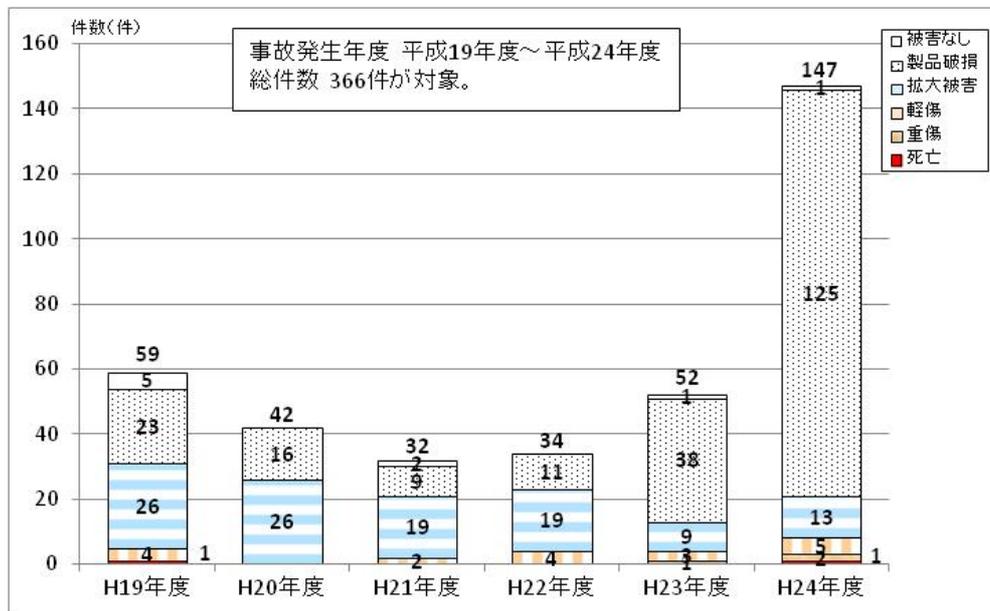


図1 扇風機の年度別事故件数及び被害状況

## (2) 月別事故発生件数について

扇風機の事故のうち、事故発生月が判明した365件について、月別事故発生件数を図2に示します。事故は6～9月に多くなっており、7、8月が発生件数のピークになっています。

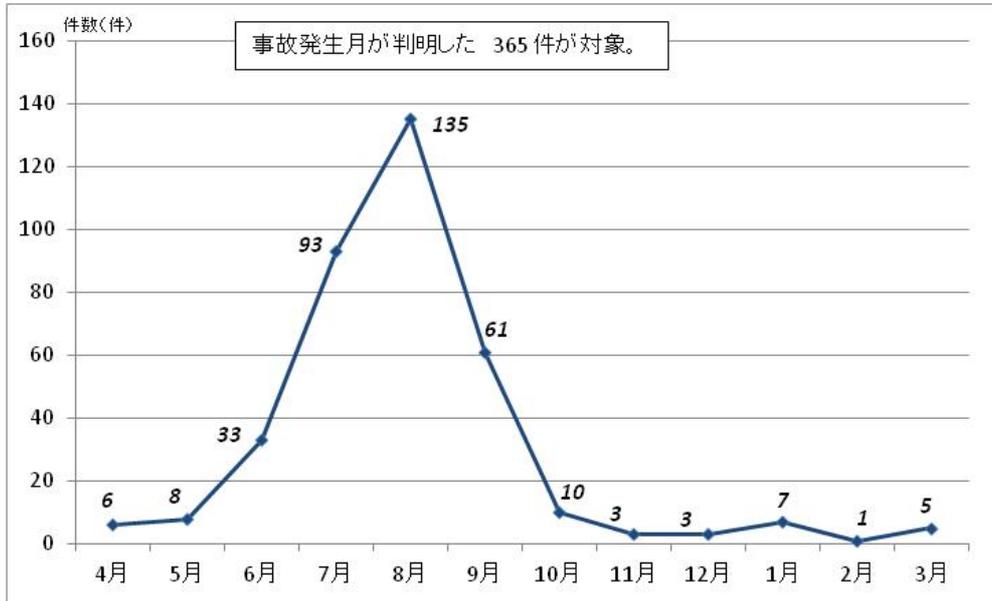


図2 扇風機の月別事故発生件数

## (3) 事故の原因と被害について

扇風機の事故原因区分別発生件数を図3に、事故原因区分別被害状況を表2に示します。

「製品に起因する事故（事故原因区分A、B、C、及びG3）」は295件（80.6%）。「製品に起因しない事故（事故原因区分D、E及びF）」は18件（4.9%）となっています。

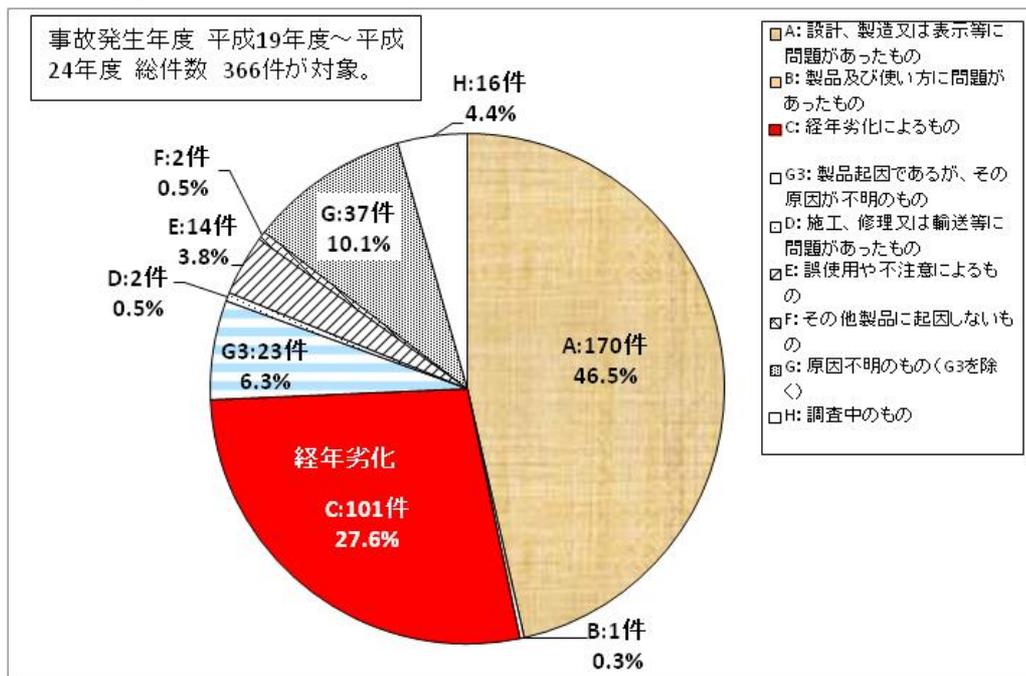


図3 扇風機の事故原因区分別発生件数

特に「長期の使用により性能が劣化したもの（以下、経年劣化という）（事故原因区分C）」は101件（27.6%）で、火災を含む人的被害を及ぼす事故が多くなっています。また、平成24年度は1事業者の社告・リコール製品で、製造不良のために首部分破損する製品破損の事故が115件と多く発生しているほか、軽傷1件起きています。

表2 扇風機の事故原因区分別被害状況（※4）

現象の内容	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの			1 (1)	6	163		170 (1) [0]
	B: 製品及び使い方に問題があったもの					1		1 (0) [0]
	C: 経年劣化によるもの	1 (2) [1]	1 (1) [1]	7 (7) [2]	62 [26]	29	1	101 (10) [30]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの				16 [6]	6	1	23 (0) [6]
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの				1	1		2 (0) [0]
	E: 誤使用や不注意によるもの			4 (5) [1]	3 [1]	7		14 (5) [2]
	F: その他製品に起因しないもの				2 [2]			2 (0) [2]
G: 原因不明のもの（G3を除く）			1 (1) [1]	3 (3) [2]	15 [10]	11	7	37 (4) [13]
H: 調査中のもの		1 (1) [1]	1 (1) [1]	3 (3)	7 [2]	4		16 (5) [4]
合計		2	3	18	112	222	9	366
事故件数								
被害者数		(3)	(3)	(19)	(0)	(0)	(0)	(25)
火災件数		[2]	[3]	[5]	[47]	[0]	[0]	[57]

（※4）平成25年5月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

被害状況別で、人的被害（「死亡」、「重傷」、「軽傷」）と同時に物的被害（「拡大被害」や「製品破損」）が発生している場合は、人的被害のより重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。また、（ ）の数字は被害者の人数、[ ]の数字は事故件数の内数で火災の件数。

#### (4) 使用期間別事故発生件数について

使用期間の判明した287件について、使用期間別事故発生件数を図4に示します。

扇風機では、初期不良等「設計、製造又は表示等に問題があったもの（事故原因区分A）」の事故は6年以上で件数は減少していくものの、「経年劣化によるもの（事故原因区分C）」の事故は使用期間10年以上経過した製品に発生しており30年から経年劣化による事故が顕著に多くなっています。また、使用期間1年未満で「設計、製造又は表示等に問題があったもの（事故原因区分A）」が109件と多くなっていますが、このうち平成24年度に通知された同一事業者の社告・リコール対象製品によるものが97件ありました。

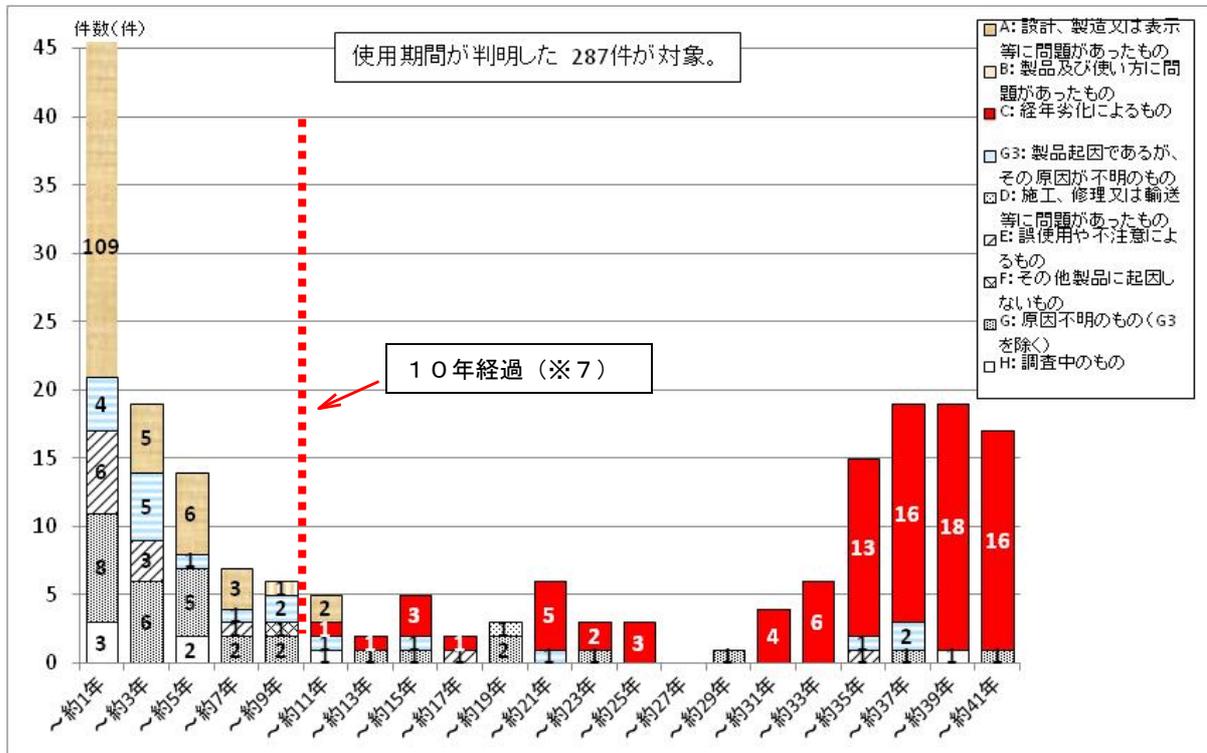


図4 扇風機の使用期間別事故発生件数

(※7) N I T Eでは、通常考えられる使用環境で一定期間（10年を目処）経過後に、部品等の性能が劣化したことによって発生したと考えられる事故を経年劣化による事故としている。

(注) 経年劣化のメカニズムについて

扇風機の経年劣化事故において原因となる部品・部位は、主にコンデンサー及びモーターです。

① コンデンサーが主原因のメカニズム

コンデンサーは、電気エネルギーを蓄えたり放出したりする電気部品です。扇風機では、モーターを一方向にスムーズに回転させたり電気を有効に利用するためにコンデンサーを使います。古いものでは、絶縁物に油やロウが使われており、長期間の使用によって油が酸化するなどして絶縁性能が劣化します。絶縁性能の劣化が進み、コンデンサー自体の発熱で油が噴出し、発火することがあります。

コンデンサーが劣化すると、モーターの回転が不安定になったり異音や異臭がしたりします。

② モーターが主原因のメカニズム

モーターは、扇風機のファンの回転や首振りに使われます。長期間の使用によるコンデンサーの劣化で、モーターが回転しにくくなるほか、モーターの潤滑油の減少によって、摩耗や錆などが発生したり、モーターが回転しにくくなります。モーターが回転しにくくなると、モーターのコイルに大きな電流が流れ、発熱やショートを起こし、周辺のコロリや可燃物に着火することがあります。

また、モーターのコイルや配線の被覆が、長期間の使用で絶縁劣化、剥離・脱落してショートを起こし、周辺のコロリや可燃物に着火することがあります。

モーターが劣化すると、スイッチを入れたとき、唸り音や擦れるような音がしたりファンが回らなくなったり、回転速度が不規則になったりします。

(5) 事故の現象別被害状況について

扇風機の事故の現象別被害状況を表3に示します。

事故を現象別にみると、電気部品等（コンデンサーやモーター）の劣化が多くなっており、人のいない状況で事故が多発しています。また、就寝中の事故は、人的被害に至ることが多くなっています。

表3 扇風機の現象別被害状況 (※4)

事故の内容	被害状況			人的被害		物的被害		被害なし	合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損				
①長期の使用により、コンデンサー等の絶縁不良・過負荷等となり、ショートした。	1 (2) [1]	1 (1) [1]	7 (7) [2]	62 [26]	29	1	101 (10) [30]		
スイッチを入れたまま、その場を離れた（外出等）。		1 (1) [1]	3 (3)	33 [16]	8		45 (4) [17]		
就寝中に使用していた。	1 (2) [1]		4 (4) [2]	14 [4]	9		28 (6) [7]		
使用状況が不明。				15 [6]	12	1	28 (0) [6]		
②首振りによる繰り返しの機械的ストレスで半断線し、ショートした。			1 (2) [1]	2 [1]			3 (2) [2]		
③隙間から指が入り、回転中のファンと接触し、けがを負った。			2 (2)				2 (2) [0]		
④電源プラグの栓刃間に針金等の金属が接触して発火し、焼損した。				1	1		2 (0) [0]		
⑤その他			1 (1)	3 [2]	8		12 (1) [2]		
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの			1 (1)	6	163		170 (1) [0]		
G：原因不明のもの		1 (1) [1]	3 (3) [2]	31 [16]	17	8	60 (4) [19]		
H：調査中のもの	1 (1) [1]	1 (1) [1]	3 (3)	7 [2]	4		16 (5) [4]		
合計	2 (3) [2]	3 (3) [3]	18 (19) [5]	112 (0) [47]	222 (0) [0]	9 (0) [0]	366 (25) [57]		

(※4) 平成25年5月31日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

被害状況別で、人的被害（「死亡」、「重傷」、「軽傷」）と同時に物的被害（「拡大被害」や「製品破損」）が発生している場合は、人的被害のより重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。また、( )の数字は被害者の人数、[ ]の数字は事故件数の内数で火災の件数。

## (6) 事故事例の概要について

扇風機の事故について、現象別に事例を示します。

## ① 経年劣化により発煙・発火した。

○平成23年7月11日（宮城県、80歳以上・女性、重傷）

（事故内容）

使用中の扇風機付近から出火して、住宅を全焼し、1人が重度のやけどを負った。

（事故原因）

長期使用により、モーター巻線の絶縁が劣化し、巻線間のショートによる異常発熱やスパークが発生して周囲のホコリ等に着火し、出火に至ったものと推定される。

なお、製造から30年経過していた。また、スイッチを入れたまま、その場を離れていた。

○平成23年8月16日（東京都、年代・性別不明、軽傷）

（事故内容）

扇風機を使用中、扇風機から出火する火災が発生し、1棟が全焼、4棟に延焼、1人が気道熱傷を負った。

（事故原因）

長期使用（約40年以上）によって、コンデンサーの絶縁性能が低下し、コンデンサー内部でショートしたために出火に至ったものと推定される。

○平成23年9月2日（熊本県、80歳以上・女性、拡大被害）

（事故内容）

扇風機を使用中、扇風機から出火する火災が発生し、扇風機及び周辺が焼損した。

（事故原因）

長期使用（約39年）により、モーターコイル部に巻線間のショートが生じたため、過熱し、出火に至ったものと推定される。

## ② 首振りによる繰り返しの機械的ストレスで半断線し、ショートした。

○平成21年6月25日（神奈川県、80歳以上・女性、製品破損）

（事故内容）

使用中の扇風機から「シュー」という音がして発煙、発火し、後方モーター部分のプラスチックが焦げた。

（事故原因）

首振り部の配線に繰り返し曲げる力が加わり、断線・ショートし、スパークしたものと推定される。

## 2. 扇風機の事故の防止について

これまで6度にわたって扇風機の事故防止のための注意喚起をしましたが、依然として事故が発生しています。扇風機による事故を防止するため、次の点に注意してください。

- ①扇風機は、製造から10年以上経過した製品に経年劣化による事故が発生しており、30年から経年劣化による事故が多発する傾向があります。そのため、10年以上経過した扇風機について以下のことに注意して使用してください。  
中でも製造から30年以上経過している扇風機は、就寝中や人のいない所で使用しないでください。

使用中に次のような症状がみられる場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を停止し、適切に廃棄してください。特に、押入れなどから古い扇風機を持ち出して使用する場合など長期間使用していない扇風機は、次のような症状が出やすいため、十分に注意してください。

- ・ スイッチを入れても、ファンが回らない。
- ・ ファンが回っても、回転が異常に遅かったり不規則だったりする。
- ・ 回転するとき異常な音や振動がする。
- ・ モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- ・ 電源コードが折れ曲がったり破損したりしている。
- ・ 電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなかつたりと不安定である。

なお、扇風機の経過年数を調べる際には（参考）1. を参照してください。

- ②水分がかかるような使用はしないでください。扇風機に水滴がかかると、電気回路がショートして発火するおそれがあります。

(参考)

1. 製品の経過年数は、次のホームページで確認することができます。

長年ご使用の扇風機についてのお知らせとお願い

(一般社団法人日本電機工業会)

URL <http://www.senpu-ki.jp/anzen/index.html>

「設計上の標準使用期間」を超えた扇風機については、扇風機に表示されているラベルや取扱説明書に従って対応をするようにしてください。

2. 長期使用製品安全点検制度及び長期使用製品安全表示制度

平成21年4月1日に、消費生活用製品安全法が改正され、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、特に重大な危害を及ぼすおそれの多い製品について「長期使用製品安全点検制度」が始まりました。また、経年劣化による重大事故発生率は高くないものの、その残存数が多く、事故件数が一定程度発生している製品について、消費者等に長期使用時の注意喚起を促すため「長期使用製品安全表示制度」が始まりました。

○長期使用製品安全点検制度（9品目）

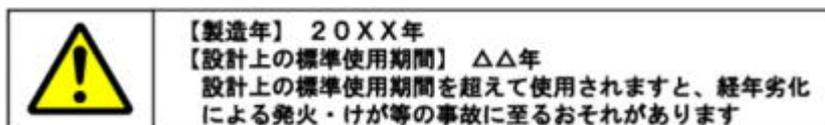
屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス・LPガス）、屋内式ガスふろがま（都市ガス・LPガス）、石油給湯機、石油ふろがま、密閉燃焼式石油温風暖房機、ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機

○長期使用製品安全表示制度（5品目）

扇風機、エアコン、換気扇、洗濯機、ブラウン管テレビ

長期使用製品安全表示制度の対象製品には、「製造年」、「設計上の標準使用期間」、「設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがある旨」が表示されています。

図 表示例



表示の部位については、経済産業省のホームページにあります「表示例集」をご参照ください。

URL :

[http://www.meti.go.jp/product\\_safety/producer/shouan/07kaisei.html](http://www.meti.go.jp/product_safety/producer/shouan/07kaisei.html)

### 3. 扇風機の事故の社告・リコール製品について

N I T Eに通知された扇風機の事故のうち、平成19年度から平成24年度までに発生した事故は366件あり、そのうち社告・リコールを行った製品による事故は211件ありました。このうち、41件の事故が社告・リコール後に発生しています。「リコール製品での事故の製品別の被害状況」を表1に示します。「リコール製品での再発事故の製品別の被害状況」を表2に示します。（なお、社告・リコールには消費者への注意喚起等を含みます。）

また、N I T Eでは、事業者等が行ったリコール情報を同一形式に編集し公開しています。

(<http://www.nite.go.jp/jiko/index4.html>)

以下からリコール情報の検索もできます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

（検索サイトを利用する場合には、「N I T E」、「リコール」等の言葉で検索してください）

※注意喚起ちらし、注意喚起リーフレット、P Sマガジンでも社告・リコール情報を提供しています。

<http://www.nite.go.jp/jiko/chirashi/chirashi.html>

<http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/leaflet.html>

<http://www.nite.go.jp/jiko/psm/index.html>

表1 リコール製品での事故の製品別の被害状況 (※5)

被害状況 製品の種類	人的被害			物的被害		被害なし	合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
扇風機	1 (2)		10 (10)	51	149		211 (12)

表2 リコール製品での再発事故の製品別の被害状況 (※5)

被害状況 製品の種類	人的被害			物的被害		被害なし	合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
扇風機			5 (5)	27	9		41 (5)

以上